

スポーツ

川越

発行 川越市体育協会



第70回川越市民体育祭総合開会式より

川越市体育協会創立七十周年を迎えて

川越市体育協会 会長 河野哲夫



川越市体育協会が昭和二十三年二月に創立されて以来、七十周年を迎えましたことは、このうえない喜びであります。

この七十年間の永き活動を継続してきましたことは、ひとえに市当局並びに教育委員会、関係諸団体の皆様にいただいたご支援ご協力の賜と心から感謝申し上げる次第です。

戦後まもなく「スポーツを通しての社会の復興・再建」を主旨として十二加盟団体に発足した本協会は、時代の大きな変化に対応しながら、競技スポーツと生涯スポーツの両面を活動の中心として取り組んで参りました。おかげさまで現在は三十一競技団体、二専門部（スポーツ少年団・女性スポーツ団体連絡協議会）の三十三加盟団体に発展することができました。このことは誠に感慨深く、これまでの歴代会長はじめ役員、会員の方々のスポーツ活動への熱い思いと活動の継続のためのご労苦に対し深く敬意を表する次第です。

特に、川越市民体育祭は加盟団体の運営により毎年二万三千人余の市

民の皆様に参加をいただいております。この大会は、創立以来継続され七十回を積み重ねられたこと、そして三十を超える競技種目ごとに開催されることは近隣にも例がなく、本協会の歴史と伝統に支えられた事業となっております。

また、創立五十周年以降の活動として、平成十六年第五十九回埼玉国体や平成二十年全国高校総合体育大会の開催に伴う運営や協力など国・県との連携による事業を実施してまいりました。さらに本市の生涯スポーツの推進を図る事業である生涯スポーツフェスティバルや参加者一人人を超える小江戸川越 HALF MARATHONには加盟団体の皆様に協力いただき運営の中心として参画しています。

二〇二〇年の東京オリンピックでは本市でゴルフ競技が開催されます。スポーツ関係者は勿論多くの市民の方々に心躍るイベントと言えます。誰もが何かの形で参加でき、人々の心に温かく刻まれるオリンピックとするために力を尽くしたいと思います。

今後は、この七十周年を契機に各加盟団体との連携を一層深め、川越市民のスポーツ活動がさらに高まることを目標に体育協会の充実を図ってまいります。

第70回 川越市民体育祭

卓球連盟

■日程…8月20日(日)
 ■会場…川越運動公園総合体育館
 ■参加者数…489名

空手道連盟

■日程…10月8日(日)
 ■会場…川越運動公園総合体育館
 サブアリーナ
 ■参加者数…200名

少林寺拳法協会

■日程…10月1日(日)
 ■会場…川越市農業ふれあいセンター
 ■参加者数…161名

なぎなた連盟

■日程…7月1日(土)
 ■会場…川越武道館
 ■参加者数…25名

ダンススポーツ連盟

■日程…11月18日(土)
 ■会場…川越運動公園総合体育館
 ■参加者数…105名



今、卓球界での若い美宇・美誠ちゃんや張本くん達の活躍は、すごく私たちに感動ややる気を起こさせてくれます。

市民体育祭は、午前は初級者に基本練習を指導。三十六台に役員が付き、四〜五人を担当。午後は年齢別シングル、ダブルス、ラージ等で試合を行い、上位入賞者には賞状が授与されました。

小学生から高齢者まで競い合う熱い一日でした。



秋晴れの中、市民体育祭空手の部兼空手道連盟選手権大会実施。小学生から一般選手までケガなく元気に技を競いました。当連盟は厳しい稽古を通して自分を鍛え相手を尊重する心を養うことを目的に活動していますが、併せて高体連インターハイ入賞や流派全国大会・世界大会優勝など競技力も強化しています。市民大会においても、選手、応援のご家族、役員が一体となって実施できました。



少林寺拳法においては、大会もまた行を修める為の一形式で、勝敗や技の優劣のみを競う為の大会ではなく、相互の技術研鑽と向上を図る場です。当日は小学生から70代の方まで幅広い年齢層の拳士が参加し、明るく楽しい雰囲気の中で、同志として連帯感と親睦をより一層高める大会となりました。

これからも川越市の青少年健全育成の一助となるよう、努力していきます。



なぎなた連盟では、5つのクラブの有段者、級位者、小学生をバランス良く3チームに分けて演技競技、試合競技を行いました。

クラブ対抗で各クラブの威信をかけて、年齢、男女関係なく戦いました。体育祭の最後を飾るのはリズムなぎなたです。各クラブの特徴が表現され、大人はしつとりと落ち着いた振り、小学生は元気一杯ハツラツとした振りで市民体育祭を盛り上げました。



参加者は、川越市民で年齢制限は無く、参加は自由で行いました。参加種別は、ミキシング、タイムトライアル、フリーダンス、ジルバ・ブルース大会等です。

特にタイムトライアルは、チャチャ、ルンバ、ワルツ、タンゴの4種目で予選、決勝と大いに市民の皆様が楽しんだと思います。

●●●●● 加盟団体紹介 ●●●●●

バレーボール連盟

バレーボール連盟は小学生から60歳以上の婦人まで、競技人口は約1200人になります。

連盟では小中高選手の減少が最大の問題であると思います。

特に中学校では指導者がいない為、小学校でプレーしていた生徒が、中学校にクラブが無い為、他の競技にいつてしまう選手が多くみられます。

その為中学校でも、外部指導者の積極的な導入や、隣接校でチームを作るなどの計画が急務であると思います。



クレー射撃協会



クレー射撃競技は、クレー標的、石灰とピッチで作られ、直径11センチ、厚さ2.5センチの円盤状の物を空中に飛ばし、散弾銃で射撃し、100枚中割れた数で順位を争う競技です。秒速30メートルで飛ぶ標的を瞬時の判断力で射ち落とす、非常にスリルに富んだスポーツです。会員の中には、日本代表選手、国体個人優勝、全日本選手権4獲得選手もいます。興味のある方、お待ちしております。

バドミントン連盟

川越市バドミントン連盟は、昭和46年に設立し、まもなく50周年を迎えようとしています。現在、加盟団体は9団体で活動しています。主な大会は市民体育祭・ミックス大会・連盟会長杯・チーム対抗戦・レディース大会です。他には初心者教室・身体、知的障害者教室等に講師を派遣しております。練習は市民体育館・小中学校体育館等を利用して日々、レベルアップを目標に練習を頑張っております。

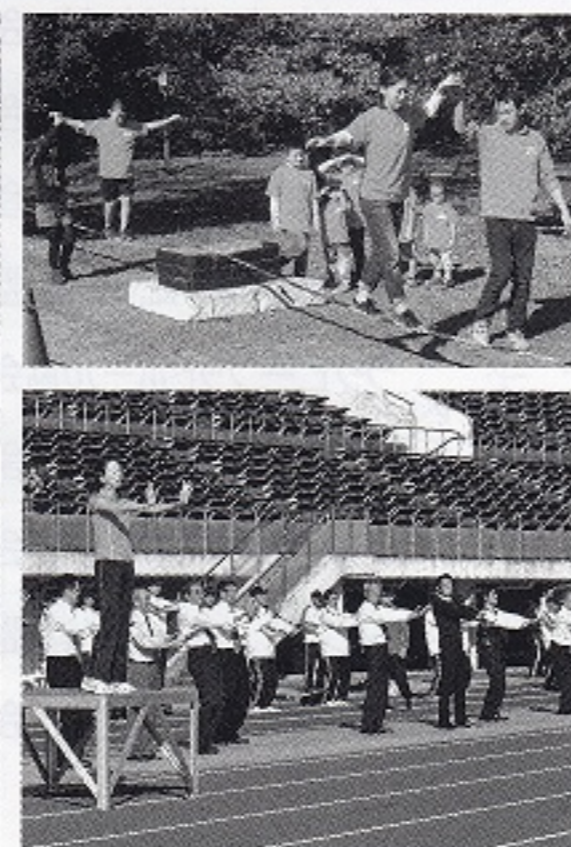
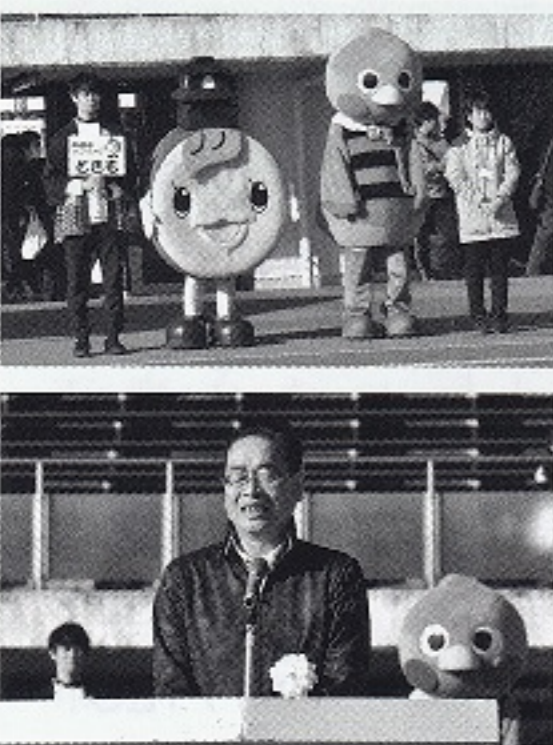


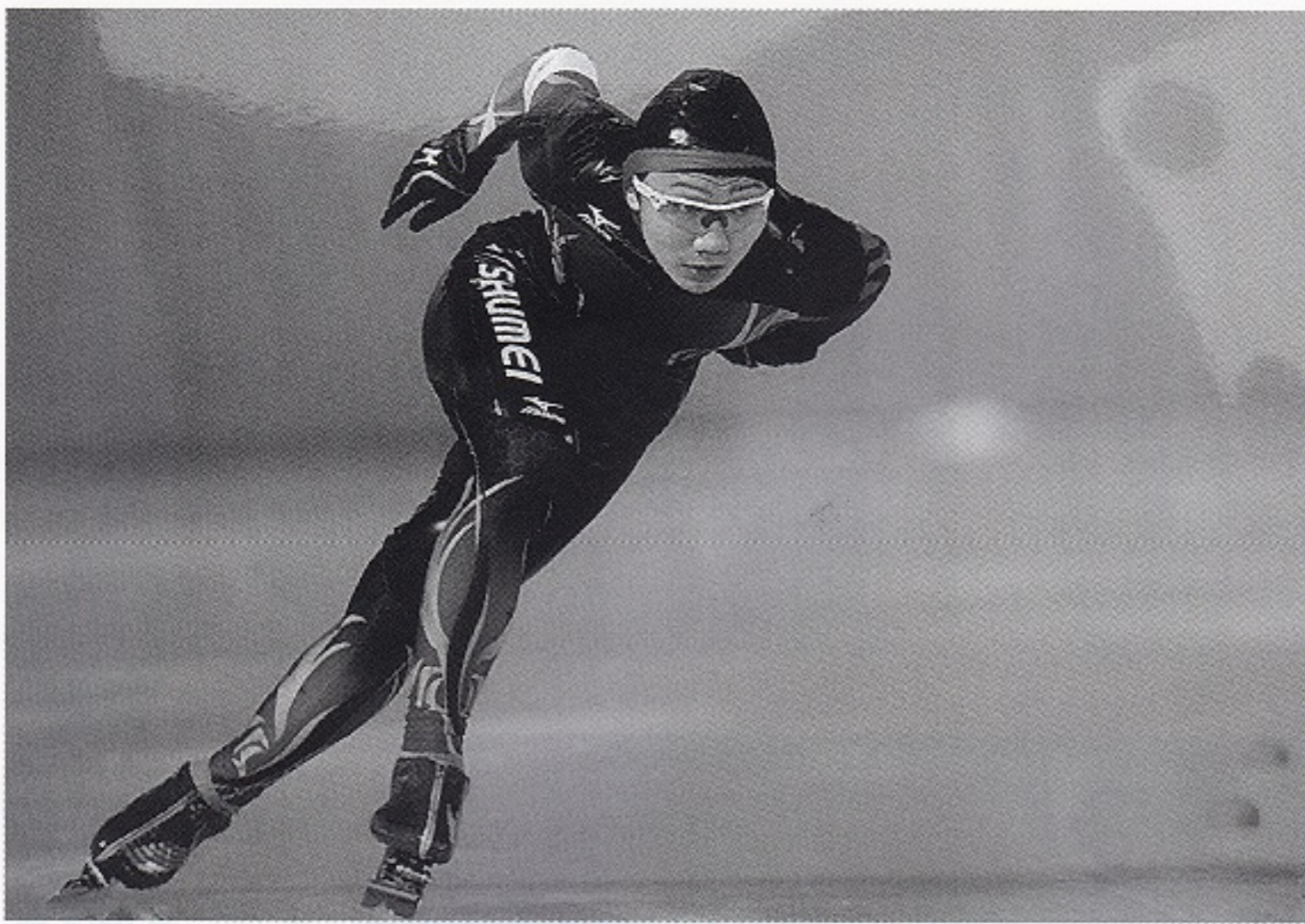
第14回 川越市生涯スポーツフェスティバル 生涯スポーツフェスタ2017

平成29年11月3日(金・祝)、川越運動公園を会場として「第14回川越市生涯スポーツフェスティバル(愛称:生涯スポーツフェスタ2017)」が、2440名の参加をいただき盛大に開催することができました。

子供から大人まで、市民の誰もが気軽にスポーツを体験し、心身の健康増進と市民相互の交流を図ることが目的です。

ウォーキングコーナー(一般、親子・家族の部 計452名)、綱引きコーナー(小学生、中学生、一般の部 計81チーム 867名)、ふれあいコーナー(23コーナー 1067名(述べ参加者数6592名)、体力測定コーナー(計54名(述べ参加者数199名))の4つのコーナーに分かれ、多くの参加者来場のもと、無事に終了いたしました。





冬季国体1500mでは初出場で優勝



ジュニアワールドカップ第1戦
1000mで、銀メダルを獲得

祝 松津秀太選手(秀明英光高校・川越在住) ス。ピードスケート ジュニアワールドカップ 金メダル獲得

川越市スケート連盟
理事 大貫 了

川越市出身(今成小・川越第一中・秀明英光高校)の松津秀太選手がジュニアワールドカップ第一戦ドイツ・インツェル大会に出場した。代表選手は北海道や長野県の選手ばかりの中で、唯一、埼玉県の高校生として出場権を獲得した。

彼にとっては初めての国際大会であるにも関わらず、初日の一〇〇〇mでは自己ベストを更新して銀メダルを獲得。続くチームスプリント競技では北海道の選手とチームを組んで見事メダルを獲得した。

翌、二日目の五〇〇mでは自己ベストを更新するも惜しくも4位という結果であった。彼が父の仕事の都合で川越に引越してきたのが小5の時。川越スケートセンターをホームリンクに世界で活躍する選手を輩出している川越SSCに入会し、メキメキと力をつけていった。ショートトラックとスピードスケートの2足の草鞋で、ショートトラックでは全日本選手権に出場を果たし、スピードスケートでは全国中学やインターハイで入賞を果たし、高校選抜と冬季国体では初出場優勝を飾った。

そして世界の舞台でメダルを獲得した彼の次の狙いは、ショートトラックの世界ジュニアである。更に4年後の北京オリンピックを目指して挑戦を続けていくて欲しい。

彼が父の仕事の都合で川越に引越してきたのが小5の時。川越スケートセンターをホームリンクに世界で活躍する選手を輩出している川越SSCに入会し、メキメキと力をつけていった。ショートトラックとスピードスケートの2足の草鞋で、ショートトラックでは全日本選手権に出場を果たし、スピードスケートでは全国中学やインターハイで入賞を果たし、高校選抜と冬季国体では初出場優勝を飾った。

連盟・協会 問い合わせ先一覧

団体名	連絡責任者
野球連盟	和田 昌男
卓球連盟	牧野 保代
ソフトテニス連盟	野口 暁則
バレーボール連盟	天沼 忠一
バスケットボール連盟	鈴木 俊夫
サッカー協会	坂代 暁生
柔道連盟	及川 誠
剣道連盟	小谷野 幸男
弓道連盟	岡野 茂
空手道連盟	山下 和宏
陸上競技協会	岩瀬 善彦
水泳協会	佐藤 明
スキー連盟	宮本 一彦
クレー射撃協会	小原 征男
ライフル射撃協会	西川 仁
スケート連盟	大貫 了

団体名	連絡責任者
体操連盟	大塚 賢一
小学校体育連盟	三富 謙介
中学校体育連盟	内谷 雄大
高等学校体育連盟	甲原 史朗
レクリエーション協会	岡部 幸一
バドミントン連盟	平岡 和子
少林寺拳法協会	吉野 広二
ソフトボール協会	関口 竜太郎
テニス協会	川尻 康夫
なぎなた連盟	栗原 保代
ラグビーフットボール協会	佐藤 紳也
ゲートボール連合会	石田 稔
グラウンドゴルフ協会	本居 政明
ダンススポーツ連盟	中野 廣司
ゴルフ協会	神田 賢志